



陰の力に気づき、感謝できる人に…！

私は夏休みを利用してある湖に出かけた時のことです。

その時、次のような光景を目にしました。

それは、私がベンチでくつろいでその湖を眺めていると、数羽の水鳥がその湖上を非常に滑らかな動きで通って行ったのが目に入りました。それらの水鳥の静かでスムーズな動きに魅了され、とても心が癒されました。しかし、水鳥は水面下では生物学的に前に進むために懸命に必死に足を動かしているようです。当然ながら、その様子は私には見えませんが実際はそのようです。そのような水鳥の動きを見ながら、私は学校行事・部活動そして学校全体のことが頭に浮かんできました。



さて、2学期がスタートして10日あまりが経ちました。心も体も平常授業のリズムに戻ってきましたか。今学期は10月に学校全体で取り組む「体育祭」と「学年文化祭、全校文化祭」があります。また、部活動では3年生から活動のバトンを引き継ぎ、2年生を中心に例年以上の暑さの中で練習や稽古に打ち込んできたと思います。その成果を試す「市内新人大会」が9月中旬に開催されます。このような大きな行事や大会を成功させるためには、先頭に立って集団をリードする人たちがいます。一方で、行事・イベント・大会の成功や勝利のために目立たないところで黙々と準備を重ねる人たちもいます。私は1学期や夏休みの期間中にもそのような場面を数多く見てきました。表面的にはスムーズに進行しているように見えるかもしれませんが、一つの物事を成功させるために多くの人たちの陰の力や支援の力があることも意識をしてみてください。

上記の水鳥の例のように**陰の努力に気づきその存在に感謝の心**をお互いに持ち続けたいものです。

話は変わりますが、9月1日（月）は「防災の日」でした。今から102年前の1923年（大正12年）9月1日午前11時58分32秒ごろに発生した関東大地震によって、南関東および隣接地で大きな被害をもたらした地震災害を関東大震災といいます。この関東大震災での甚大な被害や教訓を忘れないために毎年9月1日を「防災の日」と定め、各所で防災訓練等が行われるようになったようです。

先週の5日（金）は台風15号接近のため本校も臨時休校にしました。皆さんの自宅や周囲では被害はありませんでしたか。新聞報道では静岡県では突風被害により甚大な建物被害があったようです。

始業式の時に生徒会長から明快な報告がありましたが、8月5日（火）に学校関係者・生徒・地域の皆さんが一堂に会し「地域防災会議」を行いました。参加した生徒たちは「自助」「共助」「公助」の観点から災害発生時に中学生として何ができるのだろうと考えるきっかけになったようです。この会議を機に学校と地域が連携して校区全体として「自分の生命を守りながら地域の人々の生命をどのように守っていくのか」を考え続けて具体的な行動につなげていきたいと思えます。

※ お知らせ

- ・ 防災訓練が開催されます。日時：9月28日（日）午前10時～、場所：魚住小学校。
内容：簡易トイレの体験、スマホやタブレットから避難者名簿の作成など
詳細は本日配布のチラシを見てください。地域行事にどんどん参加してみましよう。